

令和7年度 第1回東区まちづくり懇話会議事録（要旨）

1 開催日時

令和7年（2025年）8月26日（火） 午後2時

2 場 所

東区役所101会議室

3 出席委員（順不同）

西森、中釜、井川、小杉、吉村、西原、田中、入江、田上

4 次 第

- (1) 東区まちづくり懇話会について【資料1】
- (2) 委員紹介（ひとことずつ自己紹介）【資料2】
- (3) 令和7年度、令和8年度の東区まちづくり事業について
【資料3および別紙】
- (4) 議事
 - (ア) 会長・副会長選出
 - (イ) 東区まちづくり推進事業について

議事発言要旨

- 事務局

次第に沿って議事を進めていく。

「東区まちづくり懇話会について」を事務局から説明。

続いて、議事（ア）会長・副会長選出について、懇話会設置要綱第5条の規定により委員による互選となる。

- ◎ 委員

西原委員から、会長に西森委員が推薦される。

井川委員から、副会長は田中委員が推薦される。

- 事務局

ご賛同頂ければ拍手をお願いします。

《全員拍手》

それでは、会長は県立大学准教授の西森委員に、副会長は熊本大学特任教授の田中委員に決定する。

- 事務局

今後の議事については、西森会長をお願いします。

- ◆ 会長

議事を進めます。

議事（イ）「令和7年度東区まちづくり推進事業」説明をお願いします。

- 事務局

令和7年度東区まちづくり推進事業について事務局から説明。

- ◆ 会長

事務局からの説明に対し、委員から御意見、御提案は無いか。

- ◎ 委員

あさひばりリビングはいい活動をしている。秋津公民館以外でも開催は可能か。スペースや駐車場の制約があるのか。

● 事務局

秋津だけでなく、託麻でも同様の環境整備が整っており、今年度子供向けの体験活動や美容など既に始動している。

◎ 委員

各地域の公民館等で毎週順番に開催して欲しい。

公民館のスペースや駐車場の確保が課題だが、ある程度スペースがあり、他の講座生も考慮した駐車場の確保が必要。

◎ 委員

活動の告知はしているか。

● 事務局

告知は熊本市の公式 LINE などで行っており、通りがかりの人にも活動を知っていただける形で開催している。

◎ 委員

熊本地震ドキュメンタリー「揺れの記憶」は東区だけの内容か。今の小学生・中学生は震災を知らない世代であり、小学生を対象にした上映、PTA との連携による周知や、DVD の貸し出しをして欲しい。

● 事務局

東区は当時特に地域で活動がっており、そういった地域で活動した方に焦点をあてたいと思っており、全市的な物とは住み分け作成する。しっかり作り込み貸出ししていきたい。

◎ 委員

文化的処方事業はとても良い。教育や子育ての場にアートがあると良い。まちの中、特に雨天でも利用しやすい商店街にアートがあるのも良い。見るだけでなく、みんながそこでアートを体験できると、商店街にも良い影響がある。一人親家庭等では、美術館に行く機会が少なく、教育的な体験が欠如することもある。そういった活動を手伝いたいので、是非声をかけてほしい。とても良い案だと思った。

◎ 委員

第二高校の美術科をはじめ美術系が多く、アーティストと連携しやすい。アートを

体験することで心のつながりが生まれる可能性に期待したい。いろんな講座や活動にアートをつなげていきたいという目論みがある。

◆ 会長

文化的処方とはどういうものを文化的処方といっているのか。

◎ 委員

薬を処方するようにアートを用いることが文化的処方といえる。最初はアーティストの活動に参加し、次に外部とつながり、さらに広がっていく構造がある。

◆ 会長

学生と一緒に工作をしているが、それも文化的処方なのかという疑問があったが、学生にも伝えたい。

◎ 委員

区役所と商店街の空き店舗を活用して、高齢者向けの福祉的なワークショップを実施した。参加者が笑顔で帰っていく様子が印象的で、良い取り組みだと感じた。秋口には他のイベントと連携して実施する可能性もある。商店街の防災イベントとも関連づけて、地域全体での活性化を目指したい。今後も文化的処方を軸にした取り組みを広げていきたい。

◎ 委員

初めての参加で、これまで東区がこういった事業をやっていることを知らなかったが、地域とのつながりを大切にされていると感じた。「揺れの記憶」の上映会が小学生も対象とした方が良いのではないかと。

● 事務局

ゆくゆくは小学生も対象とされる。もともとは東区の記録として、先ほど区長が申し上げたように、記録として、アーカイブ映像として残しておこうというのをドキュメンタリー映画にしようということをしてます。

防災意識のアップロードをしてもらうために作るものですので、各小学校体育館とか、実際に避難所になった体育館で見てもらったりとか、そういうこともやると思い出しになっていいかなと思っている。

◎ 委員

今の小学生は1歳ぐらいで記憶がない、中学生で1年生のときだったので知らな

い子供たちに対し、こういったものを上映してもらってほしいなと思う。

PTAでも、小学校に所属していない地域（託麻北、西、桜木など）では、協議会から脱退して独自に活動しているところが東区でも増えている。熊本市全体ですね。そうしたPTAや保護者の会を活用してもらうとこういった事業を、各学校の方にも周知を行い、映像を活用してもらえようようにしたい。

● 事務局

ありがとうございます。

しっかり作り込みをしてですね、DVDを作成し、貸し出しができる形にすることで、より多くの子どもたちに体験を届けたい。

◎ 委員

若者リーダーズ、若者まちづくりの種について、若者が地域に興味を持ち、地元に残るきっかけになる取り組みとして非常に良い。小中学生の聞く体験も重要で、更に企業の協力を得ることで地域や仕事、より多くの内容を提供することができるのでは。

● 事務局

今日お話ししたのは費用が発生しているものの一覧だが、費用が掛からないところでは学校の出前授業として地域担当職員が学校の授業に出向いて地域の良さや自治会の方から地域の話をしたり、町を一緒に歩いたりして郷土愛を育てている。費用がかからないので出てきていないが、子供たちへはそういった取り組みを既にしており、これ以外にもやっている。今後も継続したい。

◎ 委員

商店街・江津湖の活性化について、商店街の空き店舗が多く、寂しさを感じる。子供から高齢者まで自然に交流できる企画が欲しい。告知も商店街の入口にイベント告知看板を設置したり、市政だよりで知らせたりできないか。江津湖の木に名前の札を付けて、親近感を持ってもらってはどうか。

● 事務局

確かに東区は最も人口が多く、北は託麻三山、南は江津湖がある。お店も公的設備もたくさんあるので皆様から子育てしやすいという評価があるためしっかり発信していきたい。市政だよりはかなり前から入稿しなければならないのでリアルタイムのお知らせには向かず、イベント系はSNS、うちであればInstagramやLINE

でお知らせしている。商店街で今年度から夜市を始められて1万2、3千人の多くの方が来られるものを毎月されているので、そういうものも私たちがSNSを使ってより皆様に発信していけたら良いと思っている。

◎ 委 員

健軍夜市について、これまでさびれてきていたと感じていたが多くの人が集まっているのを見て嬉しく思った。

◎ 委 員

月出から行くと歩いていくには遠く、まだ行けていない。バスがあれば行きたいけれど、自転車は飲酒運転になるので行けない。Instagram だけで見ている。

◆ 会 長

Instagram の評判が良いが、どういう形で Instagram を発信しているか。

● 事務局

テーマを絞り、自分から話しかけたりはしないが子供たちを見守っているような身近で頑張っている地域の「人」、若い人をターゲットに「グルメ」、そして「風景・文化資源」の3つとしている。いずれにしても市の職員での投稿では伸びず、クオリティがフォロワー数につながる事がわかったので、専門業者へ委託。結果、四時軒のイベントなどは視聴者数が非常に伸びた。投稿された方もきついからやめようと思っていたけれど、よく撮れていたから続けようと継続意欲にもつながっている。

◎ 委 員

地元の人をキャラクター化した「地域カード」を作成して、子供たちに収集してもらってはどうか。商店街の人や職員をカード化し、イベントごとに配布することで地域のつながりのきっかけにしてはどうか。

● 事務局

過去にカードがあったと認識している。

◎ 委 員

10年前、当時熊大に政策創造研究センターがあった時に作った「江津湖カード」のことだと思う。泉ヶ丘小学校の子たちがデザインをして、の若葉泉ヶ丘小あたりで流行った。

◆ 会 長

カードに最近の教科書のように QR コードを付け、追加情報を楽しく届けてもいいのではないか。

◎ 委 員

夜市の際、託児はあるか。

◎ 委 員

託児はしていないが、具合が悪い方等には対応できるように準備している。こどもが休憩できる場所をつくっていたが、多くは集まってもらえなかった。空き店舗は使えるところがなかなかない。暑いと涼しいところがいいが、機材は揃えたりしているが本当に人が増えてきており不安なのでそうした対応も整えたいと思っている。

◎ 委 員

子育てをしていた際、孤独を感じることはあったが、子育てサロンも日時が決まっていたのでその時間に行けなければ難しい。逆に今は、そうしたお母さんを助けてあげられる。孫がいて、そういう境遇の人は沢山いるが、区で登録制にして、イベント時に託児に派遣します、とすると日頃は我慢をしているお母さんたちも参加ができる。

孤独な高齢者にとってもよい。ファミリーサポートは敷居が高いという意見を聞く。近所同士でつながっていくきっかけになるのではとも思う。

◎ 委 員

東区も全校区で子育て支援ネットワークが立ち上がっており、これだけ充実しているのは全国的に見ても熊本しかない。東区18校区で月1回の開催でも、お母さんたちは渡りで、情報をキャッチして参加される。それまでは紙媒体だったが、運営委員会でQRのマップを作って、去年からは動画も作ってユーチューブで顔が見える形になっており、それぞれの校区で取り組んでいる。

◎ 委 員

民生委員の方とかとお互いさまの関係になっていけばイベントとかでというのはあると思うが、自身も保育園をやっているが、不特定多数の方に子供を見てもらうのはいうのに、アレルギーや生涯などの面からハードルの高さを感じる。支援関係を深めてお互い様の関係が築ければいいかと思う。

● 事務局

ファミサポは敷居が高いとのことだが、行政としては質も確保した上で利用をお願いしている。

繋がりづくりのはじめとして、文化的処方を取り入れてみようと考えている。

◎ 委員

子育て世代対象というすごいテーマにはなるが、現代美術館に子育てサロンを設置すると気軽に参加ができるかもしれない。

◆ 会長

託児となると専門性が必要だったりするが、ワークショップを介して一緒に遊ぶとなるとハードルは下がるが質の問題はあるということがわかった。

◎ 委員

公園の活用法について、公園であれば子どもからお年寄りの方、一人暮らしの方も公園に行けば誰かと話ができるのではないかと。中原公園（熊大近く）は草がぼうぼうでもったいないと思う。自然に集まる場所として公園が役割を果たしてくれるのではないかと。花火ができるように東京の方で復活しているところもある。東区は私が通るところは大丈夫。もう少し魅力的な公園があるといいなと思う。

● 事務局

公園は公園愛護会など管理をされている方がいらっしゃり、内容によってできるところとできないところがある。地域の方に愛されるためには迷惑をかけないことが大事だが広さの問題もあったりする。東区内の公園が全てきれいであると良いと思う。

◎ 委員

熊本地震から10年になるが、子育て支援ネットワークがどう機能したかというのがわかっていないが、今後の災害に対してネットワークで何ができるのか、初動は難しくても、復旧復興の段階になった際に、東区の青年会議所であったり東区のメンバーで何ができるのか、と考える。東区のメンバーで連携して連絡がとれる体制作りが出来ると良いと思った。

● 事務局

熊本市の戦後70年事業を担当したが、時間がたつと記憶が変化してしまうため、

10年の節目に記憶のアーカイブを残したいと考えている。それをいろんな方に見ていただきたい。連携については証言がでてくる中でご意見を受け止めてやっていきたい。

◎ 委員

まちづくりリーダーの種について、来年度はどこの校区か既に決まっているか。こどもに地域課題の解決について考えてもらう取り組みは良いと思った。こどもにとっては今いるところが地元。託麻東は人口が多いため、是非選んで欲しい。消防団も若い方が少なく、自治協議会も毎月メンバーも代り映えが無い。こどもたちが実際に考えた取り組みをやることで、今まで見いだせなかった人材も見出せるのではないか。

● 事務局

今のところ決まっていない。地域にヒアリングをして決めたい。

◆ 会長

ワークショップをして次にボランティア募集みたいなところを地域のなかで行うというのは、こういったイメージで、今お考えでいらっしゃいますか。

◎ 委員

実際小学生もなかなか忙しいので、小学生も含めて一般にそのボランティア募集するあいポートにも公告を出すことで、ちょっと期待したりとかしてますけども。その中で、県大さんの地域ラボトリーとかだと、その興味関心とマッチングができれば、ボランティアでその運営支援をしていただいたり、そのあとの、取り組みの改良をするためのアイデア出しだとか、そういうことも、この大学の取り組みの中で、行いといけなかなっていうのを考えており、今ラボトリーの事務局を介してお願いしているところです。

◎ 委員

パワーアップ大作戦に長く参加しているが、地域の担い手不足を感じている。参加される地域の方も10年以上されている方。仕事で他区から東区に来ている人もいるため、その人たちに企業市民として東区で活動に参加してもらうことで、昼の時間に人がいない、といったことも解消できるのでは。企業市民、企業住民という感覚を取り入れることで、いずれ防災にもつながっていくのではないか。たとえば地域の回覧板を企業に回してもらおうとか、いろんなことを地域の方にも協力してもらって企業が参加していけるようになるといい。

また、健康まちづくり推進員で、東区に特化した健康増進かるたを作っている。東区は糖尿病の方が多いため、東区の特徴特色を入れ込みながら作っているため、できたら、まず小学生に遊んでもらってPTA等も含め大人を巻き込めないかと活動している。

● 事務局

元々マッチングの事業を始めるにあたって担い手不足があった。防災にもつながるのではないかと目論見もあり、実際に何かあったときは駐車場を使っても良いという協定を結んだところもあると聞いている。昼間は一人の地域の市民として活動してもらい、今後も防災でもつながると良い。

健康増進カルタについては学生さんと作ったというものを聞いており、今回も楽しみにしている。

◎ 委員

出来上がったなら Instagram で紹介して欲しい。去年県立大の学生に作ってもらったものは東区に特化していなかったため、今年は東区に特化して作っている。

◆ 会長

ありがとうございました。続いて、「令和8年度新規事業案」について、事務局からの説明をお願いします。

● 事務局

「令和8年度新規事業案」について事務局から説明。

◆ 会長

事務局からの説明に対し、委員から御意見、御提案は無いかな。

◎ 委員

多文化交流について、美大で交換留学、というのがよくあるが、行った先の人たちが自分の国の料理であったりを取り上げてくれているとリスペクトされているのかな、という感情になるので検討してはどうか。

● 事務局

是非検討したい。

◆ 会 長

以上で議事を終了する。